



土を守る

—桑園を支える芝草たち—



MAKINO landscaping

Since 1987

土を守る。

Protecting the soil.



introduction

桑園を管理する中で、私たちは一つのことに
気づきました。

それは土の状態が変わると、
樹木の育ち方や景観も
少しずつ変わっていくことです。

その気づきから始まったのが、
芝草を活用した土を守る取り組みでした。

この冊子では、桑園での実践を通して見えてきた
「土を守る」
という考え方をご紹介します。



Centipede Grass



桑園に芝を導入する

桑園では、土壌の乾燥や雑草の管理が課題でした。

改善策として、私たちは芝草のタネを撒きました。

使用したのは、他の現場で雑草対策用に検討していたセンチピードグラスです。

一般的なノシバより、早く地表を這い生長する特性があるため、試験的に播種し、生育の様子を観察しました。

その実践を通して、芝を育てることだけでなく、植物同士の間隔を観察しながら環境を整えることの大切さを実感しました。

この経験が、「土を守りながら、植物を育てる」という現在の管理の考え方につながっています。



土を守る芝草の役割

芝草を育てる中で、私たちは土が少しずつ変わっていく様子を観察してきました。

① 土の締め固まりを和らげる

芝草が地表を覆い、根を張ることで、人が歩いた後の土の締め固まりをやわらげます。

② 土の生きものを育む

芝草の根や落ち葉は、ミミズや土の微生物などが暮らしやすい土壌環境づくりにつながります。

③ 土壌の乾燥を抑える

芝草が地表を覆うことで、水分の蒸発を抑え、土の状態を安定させます。





芝管理は、 芝草が優勢な環境を守ること

私たちが目指している芝管理は、
雑草をなくすことではありません。
芝草が優勢な状態を保ち、
土や植物が健全に育つ環境を守ることです。

そのためには、
冬の土壌処理や春の手除草を積み重ね、
芝草が広がりやすい環境を整えることが欠かせません。
芝草が地表を覆うことで、
雑草は生えにくくなり、
土の乾燥も抑えられます。

日々の管理は、芝を守り、その先にある土を守るために
行っています。



芝草がまだ土を十分に覆えてなかった頃。

土が露出しやすく、雑草が増え、管理の負担も大きくなってました。

Sunlight



光も、土を守る大事な要素

芝草の生育には日当たりも大きく影響します。

桑の枝葉が茂って日陰が増えると、芝草が育ちにくくなり、雑草が生えやすい場所が見られます。

実際に桑園でも、日陰になりやすい場所は芝草が減り、土が見えている箇所があります。

そのため、桑の剪定によって適度に光を取り入れることも、芝草を維持するための大切な管理の一つです。

土を守るためには、芝草だけでも、桑だけでも十分ではありません。適切な光・芝草・土が互いに支え合うことで、健全な環境が維持されます。

土を守るということ。

土を守るとは、一つの作業だけで完成するものではありません。

芝草が健全に育つ環境を守ること。

冬に土壌処理を行うこと。

春に手除草を行うこと。

適切に剪定を行い、光環境を整えること。

土壌生物が暮らせる環境を守ること。

一つひとつの積み重ねが、健全な土壌を守り、
植物が健やかに育つ環境につながります。

私たちはこれからも、「土を守る」という視点を大切にしながら、
現場での観察と検証を積み重ねていきます。



1st year
芝を播種した直後



2nd year
芝が広がり始めた頃



3rd year

芝が定着しつつある現在